



緑の風



学校教育目標「夢に向かって 心豊かに たくましく生きる子ども」
～“自分で考え みんなと創る” 楽しい ふるさとの学校～

熱い！暑い！ いっぱい笑って 癒やされた 学習発表会



9月なのに、あんなに暑い体育館になるとは！
それでも、朝早くからの温かな拍手とご声援ありがとうございました。
たくさんの笑いと「めんこさ」は、ご家族の皆様の元気にもつながったことと思います。
今回の学校報は、写真を中心としたダイジェスト版としてお届けします。詳しくは、各学年の学年通信をご覧ください。

表面・全校音楽と
6年生のバラエティ
裏面・1～5年生の発表と
器楽部の演奏



※カラーは学校HPにあります



こらえられずに、笑った笑った、6年生の演技！
私の感動！ベスト3！
①恥ずかしがり屋がこんなに大きな声を出している。
②まじめでかたい性格なのに笑わせようとしている。
③友達たちの姿からも、自分もがんばろうとしている。
運動会練習のときも、今回の学習発表会練習のはじめも、6年生は「自分から」とか「声を出す」ことが課題だなあと感じていたのですが、「いざという場」を経験しながら、最高学年としての主体性がどんどん成長しています。それは「自分でできることをやる」生き方そのものです。





1～5年生の学年発表と器楽部の演奏

夏休み明けの時間のない中で、各学年の発表も工夫されていました。この行事を「学芸会」と呼んでいた時代とは異なり、日常の学習の成果を発揮する場として大切にしたい、1～3年生。国語や音楽や体育の勉強の成果が見られました。しかも、のびのびと大きな声を出したり、手を広げたりすることをめあてに取り組んだことで、前での発表にも自信がもてたようです。

また、4年生と5年生は、ストーリー性のある劇への挑戦でした。一人一人が役割を分担し、練習して一つの物を仕上げることで、より仲間との絆や感謝の思いを深めることができました。

器楽部の演奏は、難曲へのチャレンジでしたが、6年生が全員ソロパートを任せられ、堂々と響きのあるよい音で演奏することができました。どんどん、自分の音を自分でお気に入りになっていく6年生です。

子どもたちは我々大人が想像する以上に、このような発表の場面に『緊張』しています。学年が下ならばなおさらです。それでも、あのように演技できたことはものすごい成長だと思えます。各ご家庭の温かな励ましや、各学級で自信がもてるまで練習したことの成果がたくさん見られました。

今回の、“いざという場”での表現や緊張しながらチャレンジした経験を、次の生活と学習に生かし、114の夢の実現につなげていきます。

今後ともよろしく願っています。

～連絡帳から～

- 6年生…学習発表会、とても思い出に残る1日でした。家族みんなで感動しました。1年生の頃、「6年生になると体も大きくなり、発表も立派だなあ～」と思っていたのですが、あっという間に6年生。一人一人のいいところが光っているなあと思いました。最高でした。先生、本当に本当にありがとうございました。
- 2年生…学習発表会、とっても素敵でした。一人一人がんばっている姿を見ることができ、うれしかったです。家で、祖父母に「がんばったね」とほめられるたび、うれしそうでした。先生、ありがとうございました。

学習発表会の振り返り

“いざという場”を どんどん経験させましょう
しっかり教えて、子どもに任せる場面を！

感動をそのまま子どもに伝えましょう
がんばった子に「がんばったね」と言ってあげましょう
ますます、自分が好きな人になりますね

